



なが おか 市議会だより

226号
2023.4.25

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画中継を配信中→<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/>

〈目次〉

当初予算の概要……………1

一般質問……………2

会派別議案賛否一覧表……………4

令和5年度一般会計当初予算に対する各会派の意見……………5

常任委員会の所管事項に関する質問、市議会の活動状況……………6



3月定例会は3月2日から28日までの27日間の会期で行われ、令和5年度一般会計当初予算など市長提出議案47件、委員会提出議案1件を審議しました。一般会計の当初予算額は、前年度当初比1.5%減の1,299億8,700万円となりました。新年度予算に対する各会派の意見は、5ページをご覧ください。

令和5年度 一般会計当初予算 1,299億8,700万円

「あらゆる分野で変革と人づくりを進め、

選ばれるまち長岡のミライへ踏み出す予算」を可決

5つの重点施策

I 快適で安全安心に暮らせるまちづくり

- 1 子どもの成長と子育てを応援する環境づくり 37億2,607万7千円
妊産婦と子どもの健診体制強化（産婦健診費用の助成、3歳児健診時の視力屈折検査導入）等
- 2 医療・福祉の充実と健康づくりの推進 26億597万4千円
障害者の緊急相談を24時間体制で受け付ける地域生活支援拠点の整備等
- 3 地域コミュニティ力の強化と愛着の持てる地域づくり 3億5,462万7千円
支所地域の新たなまちづくり体制の支援等
- 4 身近な生活環境の整備と自然災害への備え 257億7,769万5千円
包括的な土木施設管理の対象地域と維持管理範囲の拡大等

II 「新しい米百俵」による人材育成

- 1 「米百俵プレイス ミライエ長岡」を拠点とした人材育成の推進 28億5,814万円
「米百俵プレイス ミライエ長岡」西館の先行オープン（オープニングイベントの実施、移転する互尊文庫などで新たなにぎわいと価値を創出）等
- 2 「長岡ワークモデル」の普及と多様な人材の活用 2億3,714万1千円
「米百俵プレイス ミライエ長岡」を拠点とした産業イノベーションの推進等
- 3 未来をつくる人材育成の推進と教育環境の整備 29億3,436万4千円
中学校部活動の地域移行に向けたジュニアスポーツ・芸術文化活動の環境整備等

III 「長岡版イノベーション」による成長戦略と地域経済の活性化

- 1 日本初の「イノベーション地区」創設に向けた取り組み 11億783万7千円
「場の力」を活用したイノベーションを創発するまちの調査や研究等
- 2 循環型社会の実現に向けた取り組みの推進 4億18万6千円
「長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略2050」の推進等
- 3 地域と行政のDXの推進 3億6,078万7千円
女性や若者も就農しやすい環境の整備（スマートアグリ機器の導入支援）等
- 4 需要喚起による地域産業の下支えと人材の確保 34億720万8千円
長岡版ワークシェアリングシステムの構築に向けた実証実験等

IV 長岡を楽しく元気にする活動の推進と魅力発信

- 1 若者から高齢者まで参加できて元気になれる機会の創出と環境整備 6億5,342万8千円
eスポーツやアーバンスポーツの普及啓発によるにぎわいの創出等
- 2 歴史の継承と地域資源を生かしたまちづくり 4億9,041万9千円
戦災資料館の移転整備に着手等
- 3 長岡の魅力発信による交流・定住人口の増加 16億6,675万9千円
長岡への移住・定住の推進等

V 持続可能な行財政運営プランの着実な推進

※1 DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を取り入れ、市民生活や行政サービスをより良く変化させること



加藤 尚登 (市民クラブ)

令和5年度当初予算について

東川口保育園を民営化から公設公営方針としたことによる影響額を伺う。また、新規移転費が定員に対して高額だと考

えるが、その理由を伺う。

答

東川口保育園については、園児の減少傾向や保育士確保の課題等により、受け手となる法人がないことから、民営化を断念し、公設公営の方針変更した。影響額の試算としては、園舎の整備費に、過疎債を使用してもなお約1億円の負担増となるほか、運営費が年間あたり約5000万円多く必要となる。改築事業費については、水害お



関 充夫 (長岡令和クラブ)

令和5年度当初予算について

いて、快適で安全安心に暮らせるまちづくりの項目を1番に挙げています。安全・安心に暮らせるまちに対する市の考えを伺う。

答

安全・安心に暮らせるまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、安全・安心な暮らしを持続的に確保した上で、将来にわたるまちにしたいと思える、選ばれざるまちにするために、快適なまちづくりに取り組むという考えによるものである。

令和5年度をDX元年と位置付け、デジタルの活用により職員の業務を根本から見直し、安全や安心を損なわないようにした上で、

よび駐車場確保対策として、当初想定していた面積から若干拡大したことに加え、昨今の物価高騰の影響を考慮した額となっている。人口減少が進む中、人件費削減のための正規職員の減少はやむを得ない一方で、行政に対するニーズの多様化により業務量は減らないと考えるが、今後の持続可能な行政運営プランの方向性について伺う。

令和5年度当初予算について

現在、人口減少を踏まえた職員数の抑制と総人件費の削減に取り組んでいる。一方で行政に対する市民ニーズが多様化かつ高度化しているほか、新型コロナウイルス感染症対応やDXの全庁的な推進等、プラン策定時に想定していなかった課題への対応が求められている。

今後職員数の抑制に取り組むながら、事務事業の抜本的な見直しやDXの推進を図り、柔軟で効率的な行政運営に努めていく。

答

中心市街地整備が未来への投資であるとしているが、その効果に対する市の認識を伺う。

中心市街地整備は、まちなか型公共サービスを中心市街地に導入し、市の中心性をつくる目的で順次進めており、行政サービスや市民協働等、重要な政策を実現していくための投資である。この投資効果を十分に発揮し、市民福祉の向上や市全体の活力を生む拠点として機能するよう、常に米百俵の精神と市民協働の基本に立ち返りながら取り組んでいく。

答

今冬の大雪では、高速道路が早期に通行止めになったこと、国道8号と17号の延長33キロの区間で滞留が発生した。現在国が検討会を立ち上げ、検証を進めているが、主な原因は、長時間の高速道路通行止めによる国

道への交通集中や、記録的な大雪に対して除雪が追い付かないことによるスタック車両の発生などである。交通滞留の解決には、根本的なインフラ整備への投資が必要と考える。そこで、国土交通省北陸地方整備局長に対し、長岡東バイパスに重点的に消雪パイプを敷設するよう要望した。大雪時でも物流が停滞しない、通行止めが起きないような幹線の管理に関係団体と共に取り組んでいく。



藤井 達徳 (長岡市公明党)

大雪による交通大渋滞等の対策について

市の公式LINEの活用等、リアルタイムの情報収集と提供の充実が、渋滞対策につながるかと考えるが、市の認識と今後の対応について伺う。

冬期間の道路情報や気象予報については、道路管理者間で情報を共有し、迂回等の呼びかけを行っている。一方で令和4年12月の交通渋滞では、国道の交通情報を十分に得られず、効果的な情報発信ができなかったことが大きな課題であると認識している。今後、高速道路等の通行止めの際は可能な限り早い情報提供を関係機関に働き掛けるとともに、市の公式LINEの活用やライブ

答

秋山孝ポスター美術館長が市に寄贈されたことを契機に、撰田屋・宮内地区の観光振興と地域活性化のための一体的な整備を進めるべきと考えるが、市の認識と今後の対応を伺う。



丸山 勝総 (市民クラブ)

雪に負けないまちづくりについて

雪による交通渋滞を二度と起こさないための対策として、国道8号と17号、特に基幹病院である長岡中央総合病院から立川総合病院までの長岡東バイパスに、早急に消雪パイプの敷設を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答

今冬の大雪では、高速道路が早期に通行止めになったこと、国道8号と17号の延長33キロの区間で滞留が発生した。現在国が検討会を立ち上げ、検証を進めているが、主な原因は、長時間の高速道路通行止めによる国

道への交通集中や、記録的な大雪に対して除雪が追い付かないことによるスタック車両の発生などである。交通滞留の解決には、根本的なインフラ整備への投資が必要と考える。そこで、国土交通省北陸地方整備局長に対し、長岡東バイパスに重点的に消雪パイプを敷設するよう要望した。大雪時でも物流が停滞しない、通行止めが起きないような幹線の管理に関係団体と共に取り組んでいく。

カメラの増設による情報提供の可能性等、リアルタイムで分かりやすい情報発信を目指し、しっかりと研究していく。

撰田屋・宮内地区の観光振興と地域活性化に向けた取組について

秋山孝ポスター美術館長が市に寄贈されたことを契機に、撰田屋・宮内地区の観光振興と地域活性化のための一体的な整備を進めるべきと考えるが、市の認識と今後の対応を伺う。

撰田屋・宮内地区の一体的な整備については、重要性を認識している。本地区は、民間事業者の出店や地元まちづくり関係団体の活動、秋山孝ポスター美術館長岡の寄贈により新たな段階に入ったと考えている。空き家を活用した新規出店の動きを加速させるほか、市内の高校や大学等と連携した学びの場を広げるなど、民間主体の取り組みを支援していく。今後もにぎわい創出に向け、関係する団体や部局と連携を図りながら取り組んでいく。

答

令和5年度当初予算における妊産婦医療費助成制度拡充の狙いと実施時期・助成対象者数について伺う。

妊産婦医療費助成制度は、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備し、子育て支援の更なる充実を図ることを目的に、令和5年度から所得制限を撤廃し、対象を全ての妊産婦に広げることとした。実施時期は、令和5年10月からと考えている。

答

対象者数は、所得制限のある令和4年度は5人、所得制限を撤廃する令和5年度は10月からの開始で2000人程度、令和6年度は2800人程度を見込んでいる。



笠井 則雄 (共産党市議員)

妊産婦医療費助成制度の拡充について

令和5年度当初予算における妊産婦医療費助成制度拡充の狙いと実施時期・助成対象者数について伺う。

妊産婦医療費助成制度は、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整備し、子育て支援の更なる充実を図ることを目的に、令和5年度から所得制限を撤廃し、対象を全ての妊産婦に広げることとした。実施時期は、令和5年10月からと考えている。

答

対象者数は、所得制限のある令和4年度は5人、所得制限を撤廃する令和5年度は10月からの開始で2000人程度、令和6年度は2800人程度を見込んでいる。

養育費確保支援事業の概要と実績について伺う。また、保証会社が行っている養育費保証契約の概要と、市が実施している保証料支援について伺う。

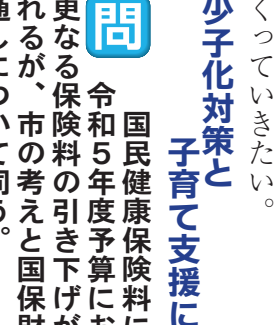
養育費確保支援について

養育費確保支援事業は、国の補助金を活用し、ひとり親家庭の養育費に関する債務名義取得費用および弁護士相談費用、養育費保証契約の保証料について最大2万5000円を補助している。実績として、令和5年2月末時点で相談件数27件、申請件数3件である。

養育費保証契約は、債務名義化されている養育費について、養育者が保証会社と契約を結ぶことで、養育費の支払者から支払いがない場合に保証会社が立て替えるものである。市では、保証会社との契約締結に要する費用のうち、初回保証料等の本人負担額の一部を補助している。

答

国民健康保険料については、高齢化等により国保に掛かる1人当たりの医療費は年々増加しており、今後もこの傾向は続いていくと予想される。令和5年度の国保料については、長引くウイルス禍に加え、電気やガス、食料品等の価格高騰による市民生活への影響が出ていることから、国保の財政調整基金を活用して被保険者の負担軽減を図っていききたい。なお、金額は、令和5年7月の本算定時に確定した被保険者数や世帯数、所得により改めて決定する。



諸橋 虎雄 (共産党市議員)

国民健康保険料について

令和5年度予算において、更なる保険料の引き下げが求められるが、市の考えと国保財政の見直しについて伺う。

答

国民健康保険料については、高齢化等により国保に掛かる1人当たりの医療費は年々増加しており、今後もこの傾向は続いていくと予想される。令和5年度の国保料については、長引くウイルス禍に加え、電気やガス、食料品等の価格高騰による市民生活への影響が出ていることから、国保の財政調整基金を活用して被保険者の負担軽減を図っていききたい。なお、金額は、令和5年7月の本算定時に確定した被保険者数や世帯数、所得により改めて決定する。

戦争ではなく平和のための取組について



五十嵐 良一 (民成クラブ)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

令和5年2月7日に開催された市町村による原子力安全対策に関する研究会において、今冬の雪害を踏まえた豪雪時の避難の実効性がどのように整理されたかについて伺う。

研究会の実務担当者会議では、豪雪時の避難の実効性を中心に質疑が行われた。

国からは、豪雪時の対応は今冬の交通渋滞の検証結果を踏まえて緊急時対応に反映させるとの説明があった。併せて、停電時の情報伝達は一般災害における対応と連携して行うこと、高速道路と国道の同時通行止めにはあらかじめ複数の避難経路を確保した上で屋内退避を継続しながら道路警戒に着手し、不測の事態に

は自衛隊等が住民避難を支援すること、住民理解のために最善を尽くす等の説明があった。県に対しては、住民の立場に立った豪雪時避難の検討を要望した。

支所地域の事務拠点化について

事務拠点化後の支所地域の災害対応体制について、市の見解を伺う。

支所地域の災害対応は、地域住民の生命と財産を守る重要な業務であると認識している。

事務拠点化後も支所長の指揮命令の下で初動対応や現地災害対策本部の設置等一連の災害対応を担う。一方で事務拠点の職員は、警戒体制時から支所で勤務し、迅速に現場対応業務を行う。さらに、災害の規模に応じて本庁の支所兼務職員による初動対応の支援や、土木部職員による応援体制を維持し、従来と同様の防災体制を取ることとしている。

その他の質問

今冬の雪害について



桑原 望 (無所属)

副市長の退職金について

民間の動向や一般職の状況を視点に入れて、副市長の退職手当率を検討すべきと考え、市の考えを伺う。

特別職の報酬額等の決定については、一般職と違い国からの具体的な判断基準は示されていない。そのため、各自治体の裁量で特別職報酬等審議会を運営していることから、自治体ごと

に審議項目や開催頻度が異なっている。本市では、平成18年度に退職手当の額についても審議項目に加える条例改正を行った。審議会においては、職務や職責に対する妥当性、類似団体との均衡や社会経済情勢、市の財政状況等の視点から、報酬等の妥当性が総合的に

判断されてきたものと認識している。市としても審議会から出される答申を尊重すべきと考えている。

長岡市特別職報酬等審議会において、市長からの諮問として副市長の退職手当率の引き下げを審議するべきと考え、市の見解を伺う。

令和元年度の市長の退職手当を減額するに当たっては、それまでの審議会委員から退職手当額が高いという意見があったことや1任期総収入額が施行時特例市の中でも上位であったことから、他団体との均衡を図る必要があると判断し、審議会に諮問した。

一方で副市長については、これまでの審議会意見が出ていないことや、1任期総収入額が施行時特例市の中で中位以下にあることから、他団体との均衡がとれていると認識している。令和5年1月の審議会でも、副市長の退職手当額を含めて据え置きが妥当との答申がなされており、現時点で諮問の必要はないと考える。



荒木 法子 (市民クラブ)

避難所について

ペット同行避難に向けた、これまでの取り組み内容と今後の体制整備について伺う。

令和4年度は、避難所に必要な資材の準備や避難訓練の試行、ペットの同行避難に関わる市民への意識啓発や自主防災会および町内会へのアンケートを実施した。今後の体制整備については、このアンケート結果を踏まえ、自主防災会や町内会と更なる訓練や検証を重ね、受け入れ施設を順次設置していきたいと考えている。

令和5年度当初予算に女性の視点からの災害対応力の強化が重点施策として挙がっているが、どのように強化していく

のか。また、避難所が多様な女性の声を聞く場となることを望むが、現在の検討状況を伺う。

災害時は、特に避難所に

おいて安全性やプライバシーの確保、女性専用の物資の用意等、女性への配慮が不足する事態が顕在化しやすいと認識している。こうした課題に対処するため、日ごろから女性の視点を生かした防災政策を通じて、男女のニーズの違いを踏まえたきめ細かな検討と準備が必要である。そのため、女性の声を聞くさまざまな機会を通じて女性の視点を防災政策に生かすことに努めている。市では、長岡市防災会議の女性委員の登用率を6%から21%に引き上げ、令和5年度にはこれに加え、市内で活躍する女性で構成する有識者懇談会の設置を予定している。防災について多角的に議論してもらい、多様な視点を通じて市の防災対応力を強化し、高めていきたい。

その他の質問

選ばれるまち長岡に向けた産業



関 貴志 (無所属)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

市が再稼働に対する事前了解権を求めない理由として、立地自治体が理解を示すことや、30キロ圏内の周辺自治体が共通認識でまとまる状況にならなければ、当市が事前了解権を獲得することは難しいからである、との

答弁が繰り返されている。立地自治体は、事前了解権を立地自治体のみの特権と考えているのか、本市の認識を伺う。

他の自治体に関する事柄なので市としては答えられない。

ない。

市は、立地自治体との関係性を重視する東電が立地自治体以外の自治体に事前了解権を与えるという事は再稼働のハードルを上げることであるため

難しく、事前了解権の拡大には立地自治体の理解が必要である等、繰り返し答弁しており、東電や立地自治体の意向に配慮しすぎであると考え、もっと市民本位の原発政策を進めるべきと考え、市の見解を伺う。

これまで、市民の安心を守るために、

国・県、東電に徹底した安全対策を求めてきた。今後も、引き続き市民の安全、安心を守ることを大前提とした原子力安全対策に取り組んでいく。



大竹 雅春 (市民クラブ)

若者の地元定着について

若者に地元企業を知ってもらう取り組みが重要であると考え、高校生のための企業フェスの就職希望者以外へのアプローチについて伺う。

進学希望者や保護者に地元企業の情報を伝えることは大切である。そのため、キャリア教育の一環として、高校生のための企業フェスに進学希望者が参加するよう、学校側にしっかりと呼び掛けていく。子どもたちが高校を卒業するまでの間にどれだけ地域の産業や企業の魅力を感じ、長岡で働くことをイメージできるかが鍵である。今後も学校関係者や関係機関と協議しながら、米百俵ブレイスミライエ長岡での産業

情報や企業製品の展示の活用も含め、積極的に進めていく。

選ばれるまち長岡を実現する取組について

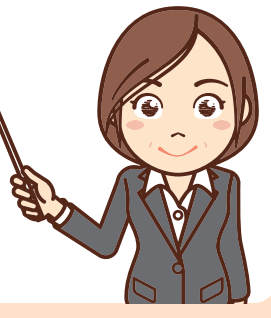
シティブロモーションを地方自治体だけで進めることは困難であるため、国の人材派遣制度を利用し、外部人材を活用することが有効であると考え、市の見解を伺う。

選ばれるまち長岡を実現するために、外部人材を活用することは重要であると認識している。国の制度は、地方自治体が民間企業の専門知識やノウハウ、人脈などを活用するものである。本市においても令和5年度当初予算で総務省の地域活性化企業人を活用する経費を予算計上し、米百俵ブレイスミライエ長岡を拠点とした産業イノベーションの推進に活用することを検討している。首都圏等で活躍するイノベーション人材等、外部の力と連携しながら選ばれるまち長岡に向けて情報発信を行っていく。

一般質問とは？



議員が行政の一般事務について、市長をはじめとする執行機関等に対し、その適正な実施がなされているかを問いただしたり、今後の方針について説明を求めたりすることを目的とする質問をいいます。一般質問は、定例会に限って認められ、提出された議案とは関係なく本会議で行われます。なお、長岡市議会の一般質問では、執行機関から十分かつ正確な答弁を得ることで充実した能率的な議会運営を図るため、あらかじめ議長に質問の要旨を通告する「通告制」が採用されています。また、長岡市議会では、一般質問の在り方を長岡市議会基本条例で定めており、議員が一般質問を行うに当たっては、質問の論点や争点を明確にし、広く市民の市政に対する理解と関心を高めるように努めなければならないとされています。



会派別議案賛否一覧表

3月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案	会派名 ()は所属議員数	市民クラブ	長岡令和クラブ	長岡市公明党	民成クラブ	共産党市議団	無所属	無所属	無所属	無所属	議決結果			
		(16)	(5)	(3)	(2)	(2)	A	B	C	D				
市長提出議案	予算	当初	令和5年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
		補正	令和5年度国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ほか7件 原案可決	
			令和5年度下水道事業会計	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	
	条例	制定	令和4年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
			令和4年度国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ほか6件 原案可決	
		一部改正	歴史文書館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	その他	一部改正	産業協創推進条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
			米百俵プレイスミライエ長岡条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ほか12件 原案可決	
		廃止	地域委員会条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決	
			市道路線の認定、変更及び廃止	財産の取得(大手通坂之上町地区市街地再開発事業C街区)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
				財産の処分(大手通坂之上町地区市街地再開発事業C街区)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ほか1件 原案可決
				財産の無償貸付け(旧ニュータウンいこいの広場)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	過疎地域持続的発展計画の変更	○		○	○	○	○	○	○	○	○	ほか5件 原案可決		
	委員会	一部改正	議会委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		

2月臨時会

提出議案	専決処分	補正予算	条例	一部改正	部制条例	市民クラブ	長岡令和クラブ	長岡市公明党	民成クラブ	共産党市議団	無所属	無所属	無所属	無所属	議決結果
市長提出議案	専決第10号	令和4年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	令和4年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	部制条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

会派別議員名簿 (3月28日現在)

市民クラブ	加藤 尚登 大竹 雅春 多田 光輝 深見 太郎 丸山 広司 丸山 勝総 関 正史 高野 正義	池田 和幸 田中 茂樹 豊田 朗 荒木 法子 長谷川一作 古川原直人 酒井 正春 五井 文雄
長岡令和クラブ	関 充夫 松野憲一郎 山田 省吾	杵淵 俊久 神林 克彦
長岡市公明党	藤井 達徳 中村 耕一	池田 明弘
民成クラブ	五十嵐良一	小坂井和夫
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
無所属	A 諏佐 武史	
	B 桑原 望	
	C 水科 三郎	
	D 関 貴志	
	E 松井 一男 (議長)	

議案が議決されるまで

本会議

- ①議案の内容が提出者である市長や議員から説明されます。
- ②専門的に審査するため、関係する委員会に付託します。



委員会

- ①付託された議案について詳しく説明され、質疑などが行われます。
- ②委員会として賛成か反対かを採決します。



本会議

- ①各委員会の委員長が審査結果を報告します。
- ②委員長報告に対し、質疑と討論が行われます。
- ③議会として賛成か反対かを採決します。



可決

否決

選挙管理委員会委員および補充員を選挙

3月2日の本会議招集日において、任期満了に伴う選挙管理委員会委員と補充員の選挙が行われ、次の方が当選しました。

●選挙管理委員会委員

- 鷺尾 純一 氏 (再任)
- 高橋 恵子 氏 (再任)
- 小方 久男 氏 (再任)
- 波多 文子 氏 (新任)

●補充員

- 第1順位 上原 暁人 氏 (新任)
- 第2順位 満極 祐子 氏 (新任)
- 第3順位 小方美和子 氏 (新任)
- 第4順位 平澤麻由美 氏 (新任)

ホームページで議会情報を発信中!

1 議会トピックス	2 定例会	3 市議会だより
4 会議録検索	5 議会中継・録画	6 傍聴のご案内

長岡市議会

検索

こちらのQRコードからもアクセスできます



長岡市議会では、次のとおりホームページで議会情報を発信しています。

- ①議長の主な活動や開催された会議等の様子
- ②議会の日程や一般質問、議案等の内容等
- ③過去の市議会だより
- ④過去の会議の会議録
本会議や委員会ごとに、発言者や用語による検索が可能
- ⑤本会議・常任委員会・特別委員会の生中継・録画中継
- ⑥議会の傍聴方法



このほかにも最新情報を随時更新中!ぜひアクセスしてください!

令和5年度一般会計当初予算に対する各会派の意見

選ばれるまち長岡に

大きく踏み出す予算として賛成

市民クラブ
クラブ長 加藤 尚登

隣国ロシアが、国際法を無視した侵略戦争を続ける中で、世界は急激な物価高騰など激動の時代に直面しています。市民生活が脅かされる事態に、国・県とともに、基礎自治体である本市も柔軟な対応が求められています。先行きが不透明の中でも見失ってはいけないのが、強い経済への挑戦です。

人口減少が避けられない環境で、生産性を上げていくことが強く求められています。

令和5年度は、DX推進部を創設し、行政に加え地域のDXを加速させる取り組みは、時宜を得たものと評価します。女性活躍、多様な人材の育成も急務です。令和5年7月には、「長岡版イノベーション」のプラットフォームとして期待される米百俵プレイスミライエ長岡の西館が先行オープンします。産学官金が丸となり、新しい価値の創造に挑戦する勇敢な若者たちを強力に支援する体制が整うことを期待します。

豪雪による渋滞発生は、選ばれるまちに向けては大きなマイナス要因です。二度と起こさぬよう関係機関と万全な対策を講じられることを要望して、本予算に賛成します。

令和5年度当初予算に賛成

長岡令和クラブ
クラブ長 関 充夫

令和5年度予算では、子どもの成長と子育てを応援する環境づくりや医療・福祉の充実と健康づくり、地域コミュニティ力の強化と愛着の持てる地域づくりなどの分野で、各種新規事業や既存事業の拡充が図られます。また、身近な生活環境の整備や自然災害への備えとともに、安全・安心に暮らせるまちづくりという、行政の使命である住民の生命財産を守る取り組みに関して、期待を含め評価できます。

一方で、新しい米百俵での人材育成や「長岡版イノベーション」の推進では、今後の展開を踏まえ維持管理費などのランニングコストが及ぼす市の財政運営への負担が危惧されます。また、市が自ら立てた持続可能な行財政運営プランにおいて、当初は財政調整基金からの繰入金で16億円で予定していたところ倍額の32億円になるなど、今後の財政運営への懸念もあります。

今後は正確に事業が実施され、市民がより安全・安心に暮らせる長岡市になることを願い、本予算に賛成します。

選ばれるまち長岡の

未来へ踏み出す予算に賛成

長岡市公明党
代表 藤井 達徳

ウイルス禍と燃料・物価高騰により、甚大な影響を受けている市民生活と地域経済への下支えは、喫緊の課題です。急速な少子高齢化やデジタル化など、社会が大きく変容する中で、時代の流れを的確に捉えて政策に反映させ、まちの魅力を高めながら都市間競争に勝ち抜くための市政運営が問われています。

ます。

令和5年度当初予算は、新年度をDX元年と位置付け、あらゆる分野での変革と人材育成により、選ばれるまちに向けた取り組みを進める予算としています。特に、子育てや医療・福祉の充実、防災力の強化など、安全・安心な暮らしの推進、米百俵プレイスミライエ長岡を拠点とした人材育成や日本初のイノベーション地区の創出、地域と行政のデジタル化への取り組み、地域資源を生かした交流・定住人口の拡大等の政策は一定の評価をするものです。

持続可能な行財政運営プランを着実に推進しながら、新年度予算が市民の期待に応え、選ばれるまち長岡の未来へ踏み出す予算として有効に執行されることを要望し、本予算に賛成します。

選ばれるまち長岡への予算に賛成

民成クラブ
クラブ長 五十嵐 良一

令和5年度予算の重点施策である「長岡版イノベーション」による成長戦略と地域経済の活性化や、「長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略2050」による、市民と企業が一体となった循環型社会に向けての取り組みに対しては一定の評価をします。併せて、女性が活躍する長岡を目指す上では子育て環境や医療・福祉の一層の体制強化が必要と考えます。

一方、今冬の雪害では幹線道路が不通になるなど、災害に強い長岡とは思

えない状況が発生しました。安全・安心で住みやすい長岡を目指すためには、更なるインフラと人材への投資が急務であると考えます。また、アフターコロナを見据えた地域への投資は、市民と企業、行政の協働によって、市民に優しい地域社会を求めていくという観点が大切です。

引き続き市民の声を大切にする「市民のための市政」により、選ばれるまち長岡より選んでもらえるまち長岡を目指した行政運営に期待し、本予算に賛成します。

誰もが快適で安全安心に

暮らせるまちづくりを目指す予算に賛成

共産党市議団
団長 笠井 則雄

物価高騰やウイルス禍で、市民の生活は大変です。令和5年度予算は、誰もが快適で安全・安心に暮らせることを基本に編成されています。具体的には、1人5万円支給のマタニティライフ応援金の継続や、10月から実施の妊産婦医療費助成制度の所得制限撤廃で対象者が大幅に拡大したことは評価し

ます。さらに、基幹3病院に対する運営費の助成拡大や障害者の緊急相談を24時間受け付ける体制の構築、7月からの補聴器購入費助成制度の創設等は前進したと考えます。

また、ロシアのウクライナ侵攻により、改めて平和の問題に関心が集まっている中で、本市は、長岡戦災資料館の移転整備や開館20周年記念事業の企画等、未来に向けた新たな平和への取り組みを始動させることに期待が持てます。

持続可能な行財政運営プランについては、市民生活に大きな影響を及ぼす使用料等の引き上げや施設の廃止等は行うべきではありません。この場合も、関係団体や関係住民によく説明し、合意の上で計画が進められるよう要望し、本予算に賛成します。

3月定例会 常任委員会の所管事項に関する質問

○常任委員会○

長岡市議会では「総務」「文教福祉」「産業市民」「建設」の四つの常任委員会が設置されており、議員はいずれか一つに所属します。各常任委員会では、本会議の付託を受けてその部門に属する議案を審査するほか、委員会の所管事項に関する質問を市長や関係機関に対して行います。

ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しい内容については会議録（5月下旬発行予定）やインターネットの録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 今冬の雪害における対応と危機管理防災本部の役割
- 今後の財政見通しの試算結果を示さない理由
- 立川総合病院の一部診療科の休診による基幹3病院輪番体制への影響
- 災害対応における自助・共助の意識を高めるための市の取り組み
- パートナーシップ・ファミリーシップ制度の目的と概要および現在の届出状況
- 中核市移行に向けた令和5年度の市の取り組み
- 支所地域の事務拠点化後の災害対応と検証の考え方

ほか

文教福祉委員会

- いじめの初期対応フロー図作成による効果
- 介護職員の処遇改善に対する実態把握調査の実施
- 重度障害者医療費助成制度の対象者拡大に対する市の認識
- 各地域の教育環境を考えた学校の在り方
- 新型コロナウイルス感染防止の情報発信と検査体制に対する継続支援
- グループホーム運営の今後に対する市の認識
- 児童クラブの見直しの検討により見えてきた課題と今後の対応

ほか

産業市民委員会

- 子どもたちのスポーツおよび文化振興への支援
- 物価高騰に対する今後の具体的な対応策
- 道の駅ながおか花火館を拠点とした市内観光地への周遊観光
- 返却された作業効率の悪い農地の利活用方法
- 悠久山桜まつりに従来のにぎわいを取り戻すための開催方法
- スマート農業の今後の展開

ほか

建設委員会

- 令和4年12月の寒波による断水の発生原因と今後の対策
- 建設業の担い手と除雪オペレータの人材確保
- 道路除雪における新たな除雪技術の導入
- 令和4年12月の大雪で国道と高速道路が同時通行止めとならなかった経緯とスタック車両移動の相互支援
- 都市公園における遊具の安全点検とインクルーシブ遊具の設置

ほか

市議会の活動状況

2月13日 議員協議会を開催

議員協議会を開催し、以下の2項目について市から説明がありました。

- ①令和5年度当初予算（案）について
- ②持続可能な行財政運営について



議員協議会の様子

2月			
2日	議会運営委員会		
13日	議員協議会		
2月臨時会	20日	議会運営委員会 本会議 文教福祉委員会 産業市民委員会 建設委員会 総務委員会	
	24日	議会運営委員会	
	3月		
	3月定例会	2日	議会運営委員会 本会議（招集日） 文教福祉委員会 産業市民委員会 建設委員会 総務委員会
		3日・6日～7日	本会議
9日		建設委員会	
14日		産業市民委員会	
15日		文教福祉委員会	
（27日間）	16日	文教福祉委員会	
	17日	総務委員会	
	20日	総務委員協議会	
	22日	議会運営委員会 文教福祉委員会 産業市民委員会 総務委員会 本会議（最終日）	

6月定例会のご案内

本会議や委員会は公開されており、誰でも傍聴していただけます。お気軽にお越しください。

6月定例会の日程は、5月下旬に決定します。

本会議

- ・開会 午後1時
 - ・受付 午後0時30分から
 - ・定員 40人、車いす席2人、親子傍聴席10人
- なお、定員は今後変更となる場合があります。



親子傍聴席



傍聴席

常任委員会

- ・開会 午前10時
 - ・受付 午前9時30分から
 - ・定員 12人
- アオーレ長岡西棟4階（議会事務局）にて

議会運営委員会

- ・開会 午前11時30分
 - ・受付 午前11時から
 - ・定員 12人
- アオーレ長岡西棟4階（議会事務局）にて



委員会室の傍聴席

